

# 資料1 母子に先を譲った車椅子の男性

パート 金井 晋佑

商業施設のベンチで休んでいた。真横にエレベーター。車椅子に乗った中年男性がやってきた。背後には介助者と思われる男性がいた。

そこへ若い母親が、子どもを乗せたベビーカーと共にやってきた。エレベーターのドアが開くと、母親は男性を先に乗せようとした。私は、それが自然の成り行きだろうと思っただけで眺めていた。

ところが車椅子の男性は、私の予想と違う行動をした。先に乗るようにと母子を促したのだ。母子は戸惑いながらも、男性にお辞儀をして乗り込んだ。

車椅子の男性は、障害があるから自分は特別だとは思ってはいなかった。私は、障害のある人は譲られる存在だとばかり思い込んでいたので、自分を恥じた。

誰もが、互いに助け合わなければならない存在なのだ。改めて、その認識が強まった。